

日中対照言語学会第38回大会（2017年度冬季大会）のご案内

記

日時：2017年12月24日（日）9：20～17：35分まで

会場：大阪産業大学梅田サテライト（JR大阪駅南口下車、阪神百貨店右の通りを直進、徒歩約5分、大阪駅前第三ビル19階。大阪市北区梅田1-1-3。電話06-6442-5522）

参加費：1,000円（会員、非会員共通）

プログラム

受付（8：50～

総合司会 下地 早智子（神戸市外国語大学）

大会開催校挨拶 張 黎（大阪産業大学）

9：20～9：25

開会の辞 于 康（関西学院大学）

9：25～9：30

研究発表1. 日本語母語話者による「したところ」の使用実態に関するコーパス調査 9：30～10：00
孟 慧（専修大学大学院）

研究発表2. 条件文における主節化の日中対照研究—日本語の「たら」と中国語の“要是”を例に—
桑 忠林（名古屋大学大学院）

10：00～10：30

以上司会 彭 飛（京都外国語大学）

休憩（10分間 10：30～10：40）

研究発表3. “会”における意味用法の拡張

10：40～11：10

張 浩然（京都外国語大学大学院）

研究発表4. 「(の)ではないか」の中国語訳についての考察—中日対訳コーパスを利用して—

凌 飛（専修大学大学院）

11：10～11：40

研究発表5. 日本語と中国語におけるマイナス評価構文に関する一考察

11：40～12：10

肖海娜（神戸市外国語大学大学院）

以上司会 加藤 晴子（東京外国語大学）

昼休み（60分間 ビルの階下に食堂街あり）

12：10～13：10

講演 从语言类型的角度看汉语句法结构的生成理据

13：10～14：10

任 鷹（神戸市外国語大学）

以上司会 張 黎（大阪産業大学）

研究発表6. 人称代名詞が後置される場合の態度表出機能について—中国語との対照を通して—

汪 聞君（大阪大学大学院）

14：10～14：40

研究発表7. サ変動詞教育における漢字の習得について—一字語素を中心に—

14：40～15：10

劉 赫洋（関西大学大学院）

以上司会 安本 真弓（跡見学園女子大学）

休憩（10分間：15：10～15：20）

研究発表8. 移動事象から見た日中移動動詞の対立

15：20～15：50

張 岩（神戸外国語大学大学院）

研究発表9. 実質視点と話題視点

15：50～16：20

高橋 弥守彦（大東文化大学名誉教授）

以上司会 余 維（関西外国語大学）

休憩（10分間：16：20～16：30）

研究発表10. 現代蒙古語中の汉语混合使用と対蒙古族学生の第二言語汉语教学

16：30～17：00

来 小子（関西大学大学院）

研究発表11. 明治時期中国語教材の動詞の捉え方—『動字分類大全』と『支那語動詞形容詞用法』との比較—

17：00～17：30

楊 昕（関西大学大学院）

以上司会 王 学群（東洋大学）

閉会の辞 加藤 晴子（東京外国語大学）

17：30

※昼食の間、拡大常務理事会を開催予定。

※当日入会申し込み、学会費の納入も受け付けます。（年会費：社会人4,000円、院生2,000円）